せりたより②

発行
芹田地区
住民自治協議会

せりたのもよおし記 親子農業体験 in 中条地区

地域活性化部会が企画し、毎年春・秋に全4回開催している「親子農業体験」。中条地区で田植えや芋の苗植え、収穫などを体験し、採れた米や芋は家庭ごと分け合ったりしています。今年は9月13日(土)に稲刈りがあり、親子15組が参加しました(※芋掘りは10月11日(土)に実施)。前日の雨で田んぼがぬかるんでいたため、稲刈りは畔の上から届く範囲とし、後半は中条支所に戻っておやつを食べつつボッチャやスラックレールのおたのしみレクレーション大会に。これがなかなか役員さんの名司会ぶりも相まって、大人も子供も(もしかしたら稲刈りより)白熱した時間になったのでした。

稲刈り ← おやつ ← おたのしみ会

参加者のリピーター率が高かった。(たしかにこれは親子でたのしいと思う)

しつもん!『地域活性化部会』ってどんな部会ですか?

\部会長/

区長を2年やってどういう訳だか引きづり込まれてネ

はっはっはっは(笑)

宮原さん(74)(日詰在住)

住民自治協議会の中で良いアイデアや意見が出てくるとするでしょう?でも実行する受け皿としてどの部会にも当てはまらないときに何でも受けるのがこの部会なんです。親子農業体験のほかに、今年は芹田と南部のこどもプラザへ「太鼓の達人」を貸し出したり、プログラミング教室、不要パソコンの回収・再生・地域内での無料配布(計画)とかも地域活性化部会が担当していますね。部会長は私だけです。でも、倉石さん(会長)や夏目さん(会計)、清水さん(区長会東部ブロック長)とか、みんなに協力してもらってやってますから大変ではないですよ。説明になりましたかね?はっはっはっは(笑)

お米のはなし

「ザクッ」という稲穂が切れる気持ちいい感触をぜひ味わってほしいですね

瀧澤さん(65)

お米づくりは子どもの頃から親と一緒にウン十年…!

田植えと稲刈りを体験してもらったお米は「ニジノキラメキ」と言って、高温に強い品種。今年の暑さにも負けずおいしく育ったと思います。稲穂2〜4株で一束にして、ハゼかけをして乾燥させるんですが、この一束が大体お茶碗一杯分くらいになるんですよ。稲刈りをするときは「お茶碗一杯分、お茶碗二杯分…」って、数えながら刈ってもいいかもしれませんね(笑)

縁の下の持ち

ヨッ!

稲刈り前日、天気は雨。予備日もあり、いろいろな意見が出たものの「やっちゃおう!」とエイヤで実施が決まったそうです。ある年は天候とタイミングが合わず、かと言って刈らないわけにもいかず、役員だけで大汗かいて稲を刈ったこともあったとか。(自然相手の企画って大変ですね)

当日、臨機応変に予定を組み替え、運営してきた事務局の皆さんもブラボーです!!

今回の仕切り&司会進行をした中嶋さん。ベテランっぽいとよく言われるが入って2ヶ月

タイガース一色だったさらりとタイガース飾りがいっぱいついてるサンダル 岩下公民館長

欠席連絡を受けるため、当日7時半から現地で万全のスタンバイ

事務局長 吉田さん

芹田木遣り会を知ってるかい??

徳武さん(七瀬南部)

「オリンピックメモリアルタワー祭り(2012年)」に花を添えるべく集った住民有志が「会」となり、少しずつ法被(はっぴ)や提灯、拡声アンプなどを揃えて早14年。毎月、楽しみながらほどほどに練習を続け、各種イベントや記念式典、御開帳などへも出演したり、年に2〜3回観光シーズンに合わせ、長野駅コンコースで観光客らを「芹田木遣り」で迎えたりしています。

そもそも木遣りとは?

その昔、山で働く人たちから生まれた仕事唄。大木を切ったり運んだりする際に「気持ちと力を合わせるために掛け合った声」が、職人たちの間でも唄われるようになり、いつしか節が付いて「木遣り唄」に。楽譜はなく、全国各地でさまざまに派生しながら口伝で唄い継がれています。

芹田木遣り会は「善光寺木遣り」を踏襲

今から300年以上前、善光寺本堂が火事で焼失した際に、再建工事で全国から集まった職人たちが唄ったものが始まり。木材を山から切り出し、裾花川で運び、引き挙げ運ぶ際などに唄われていたらしいです。

場面や相手でアレンジする歌詞も見所

出発の合図や道中、平坦地や力を出す場面などによってメロディーや歌詞がある木遣り。おめでたい席で唄う「先網(さきづな)」は、「やーれーめでたぁりやー」の唄い出しの後、その場に贈る歌詞を何人かで唄いつなげていくのが見所です。(8月の長野駅では「四方にそびゆる 山並み映える 真夏の長野 お楽しみにヨナ」と唄っていました)

会長兼指導役

こんなにすてきな仲間がいてさ長生きしなきゃね

小池さん(85)(北市在住)

木遣りは道具が要らず、手軽に始められる上に、人を喜ばせたり、場を盛り上げたりもできるんですよ。メンバーは30人位いて、飲み会に来るのは20人位。練習に来るのは15人位かな(笑)地域での飲み仲間作りも兼ね、余生を楽しむために私もやっています。

会の扇子

花家紋 横見芹葉黄連(よこみせりばおうれん)

羽田さん(川端)

晶子先生の木遣りを七瀬のお祭りで聞いてしびれてしまって…!会に入って11月で丸2年になります

『居酒屋 傳』の女将でもある 沓掛晶子さん(七瀬南部)

善光寺木遣りは40年以上やってますけど、芹田はとっても自由ですよ。初心者もベテランもみんな一緒にのびのびやってます。

久保田さん(七瀬中町)

49才で入って、最初は圧倒されましたね(笑)でも4〜5年で一通り唄えるようになって、ご開帳に出るために必死で練習して、善光寺木遣りのメンバーとしてもがんばっています。

芹田木遣り会の練習

毎月第2・4日曜18時〜20時
※大体一時間半位で終わる

場所 芹田公民館2階

年会費 3000円(飲み会実費)

入会希望は小池さん(090-8035-6953)へ!!